

「学術報告」 Vol. 12 (2), 1~23 (1984)

37) 田村道夫：植物の進化生物学，I，三省堂（1974）

38) Williams, G. H. : Elsevers Dictionary of Weeds of Western Europe, Their Common Names and Importance, Elsevier Scientific Publishing Company (1982)

昭和60年度常緑果樹関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和60年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤委託試験成績検討会は、昭和61年2月27日（木）、たちばな会館（静岡市緑町10-30）において、試験場関係者および委託関係者120名参集のもとに開催された。

当検討会では、除草剤13薬剤80点、生育調節剤17薬剤140点について、各試験場担当者の報告、質疑応答ならびに慎重な検討が行なわれた。その判定結果は、次の表に掲げた通りである。

昭和60年度 常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定結果一覧

A. 除 草 剤

対象果樹 (品種名)	薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施場所 (数)=試験実施中	試験の種類〔ねらい、対象雑草〕 処理時期; 散布薬量(製品/a) <水量/a>; 処理方法等	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
カンキツ類	(1) Dowco- ①乳 〔ダウケミカル〕	ハロキシホップ ……………10	果試興津. (1)	基礎〔効果・薬害、一年生イネ科雑草およびススキ・チガヤ〕 雑草生育期(メヒシバ草丈約30cm時); 20, 40, 60ml <10 l>; 全面茎葉処理.	新規 (継)	・適用性試験の実施.
	(2) glyphosate 液 (ラウンドアップ)	グリホサート ……………41	神奈川根府川, 愛知蒲郡, 三重紀南, 山口大島, 徳島, 佐賀, 鹿児島. (7)	適用性〔実用化〕〔低水量散布を大規模圃場にて、一年生雑草全般および・チガヤ・ヨモギ・タンポポ・ギンギシ等多年生雑草〕 春・夏期, 雑草生育期; 25ml <2.5 l>; 全面茎葉処理.	継続 実・継	実: 〔カンキツ類; 低水量(大規模); 雑草全般;刈取代用〕 春~夏期, 雑草生育期, 25ml <2.5 l>, 全面茎葉処理. 継: 草種, 処理時期, 水量について.
			静岡, 和歌山, 愛媛,	適用性〔低薬量低水量散布の効果, 一年生雑草全般(イネ科	継続 実・継	実: 〔カンキツ類; 低薬量・低水量; 一年

対象果樹 (品種名)	薬剤名・剤型 (商品名) [委託者名]	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所 () = 試験 実施中	試験の種類 [ねらい, 対象雑草] 処理時期; 散布薬量(製品/a) <水量/a>; 処理方法等	新規 の別 今回 判定	判定理由または内容
カンキツ類 (つづき)	(2) glyphosate 液 (つづき) [モンサント]		熊本. (4)	主体)) 春・夏期, 雑草生育期; 10, 15, 20 m/l < 1, 2.5 l >; 全面茎葉処理.		生雑草全般;刈取代 用] 春～夏期, 雑草生育 期, 15～20 m/l < 2.5 l >, 全面茎葉処理. 継: 草丈と薬量, 水量 について.
	(3) glyphosate 液 + DCMU 水和 (ラウンドア ップ+カーメ ックスD) [モンサント, デュポン]	グリホサート ……41 DCMU ……78.5	静岡, 和歌 山, 愛媛, 熊本, 宮崎. (5)	適用性 [現地混用による刈取代 用兼清耕維持効果, 一年生雑 草およびチガヤ・ヨモギ・ギ ンギン等多年生雑草] 春・夏期, 雑草生育期 (草丈 約30 cm時); glyphosate (m/l) + DCMU (g) …20 + 15, 25 + 20, 30 + 25; 全面茎 葉処理.	新規 実 継	実: [温州みかん; 現 地混用; 雑草全般; 刈取代用兼清耕維持] 春～夏期, 雑草生育 期 (草丈30 cm時), グリホサート25～30 m/l + DCMU 20～ 25 g < 10～15 l >, 全 面茎葉処理. 継: 処理時期, 薬量, (樹種) について.
	(4) Hoe-866 液 (バスタ) [バスタ協]	グルホシネー ト……20	果試興津, 同口之津, 四国. (3)	作用性 [除草効果, ヨモギ・ス ギナ・ギンギン・ハマズメ・ カラムシ等多年生雑草] 雑草生育期; 茎葉処理. * 詳細は試験成績集録参照.	(継続) 継	・草種, 濃度, 散布量 について.
			四国, (和 歌山紀北). (2)	作用性 [茎葉部分処理による薬 害] 春・夏期; 50, 100 m/l; 枝条 の部分別茎葉処理 (下, 中, 上部等). * 詳細は試験成績集録参照.	新規 継	・連年施用での薬害等 について.
			神奈川根府 川, 愛知蒲 郡, 広島, 香川府中, 長崎, 大分, 宮崎. (7)	適用性 [(低薬量における) 刈 取代用効果, 一年生および多 年生雑草] 春・夏期, 雑草生育期 (草丈 30 cm以下時); 30, 50, 75 m/l < 10～15 l >; 全面茎葉 処理.	継続 実・ 継	実: [カンキツ類, 雑 草全般; 刈取代用] 春～夏期, 雑草生育 期 (草丈30 cm以下 時), 30～75 m/l < 10～15 l >, 全 面茎葉処理. 継: 草種, 処理時期と 濃度, 散布量につい て.
	(5) HOK-853 細粒 (カソロン)	DBN …4.5	果試興津, 植調. (2)	作用性 [細粒剤としての効果・ 薬害および低薬量化, 一年生 雑草およびヨモギ・タンポポ ・ヤブガラシ・スギナ等多年 生雑草] 春期・秋冬期, 雑草発生前～	新規 密	・適用性試験へ移行.

対象果樹 (品種名)	薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施場所 (効 ()=試験実施中)	試験の種類〔ねらい, 対象雑草〕 処理時期; 散布薬量(製品/a) <水量/a>; 処理方法等	新規 の別 今回 判定	判定理由または内容
カンキツ類 (つづき)	(5) HOK-853 細粒 (つづき)			始期; 500, 600, 700 g; 全面 土壌処理.		
			四国, 神奈 川根府川, 静岡伊豆, 兵庫淡路, (福岡), 大分. (6)	適用性〔細粒剤としての効果・ 薬害, 一年生雑草およびヨモ ギ・タンポポ・ヤブガラシ・ スギナ等多年生雑草〕 春期・秋冬期, 雑草発生前〜 始期; 500, 600, 700 g; 全面 土壌処理.	新規 継	・試験年次不足. (処理時期, 散布量, 処理方法等について)
	(6) MR-24 ㊟ 液	グリホサート ……180 g/l 2,4 PA …… 80 g/l	静岡, 大阪, 山口萩, 愛 媛, 福岡. (5)	適用性〔刈取代用効果, 一年生 雑草およびチガヤ・ヨモギ・ タンポポ・ギンギシ・スギナ 等多年生雑草〕 春・夏期, 雑草生育期(草丈 20~30cm時); 30, 40, 50 ml <5~10 l>; 全面茎葉 処理.	新規 実 継	実:〔カンキツ類; 刈 取代用; 雑草全般〕 春〜夏期, 雑草生育 期(草丈20~30cm 時), 40~50 ml <5~10 l>, 全 面茎葉処理. 継: 草種, 処理時期, 薬量について.
			果試興津, 香川府中. (2)	適用性〔薬害〕 生育期; ・ 50ml <10 l>; 茎葉処理. ・ 50, 250ml <10 l>; 土 壌処理.	新規 継	・連年施用の薬害等に ついて.
	(7) MR-28 液	グリホサート … 180 g/l MCPA … 180 g/l	静岡, 大阪, 山口萩, 愛 媛, 福岡. (5)	適用性〔刈取代用効果, 一年生 雑草およびチガヤ・ヨモギ・ タンポポ・ギンギシ・スギナ 等多年生雑草〕 春・夏期, 雑草生育期(草丈 20~30cm時); 30, 40, 50 ml <5~10 l>; 全面茎葉 処理.	継続 実 継	実:〔カンキツ類; 刈 取代用; 雑草全般〕 春〜夏期, 雑草生育 期(草丈20~30cm 時), 40~50 ml <5~10 l>; 全面 茎葉処理. 継: 草種, 処理時期, 薬量について.
			果試興津, 香川府中. (2)	適用性〔薬害〕 生育期; ・ 50 ml <10 l>; 茎葉処理. ・ 50, 250ml <10 l>; 土 壌処理.	新規 継	・連年施用の薬害等に ついて.
	(8) MW-DC 水和	ピアラホス ………12 DCMU ………18	果試安芸津, 静岡伊豆, 兵庫淡路, 愛媛, 鹿児島. (5)	適用性〔刈取代用兼清耕維持効 果, 一年生雑草全般〕 春・夏期, 雑草生育期(草丈 30cm以下時); 50, 75 g; 全面茎葉処理.	継続 実 継	実:〔カンキツ類; 刈 取代用兼清耕維持; 一年生雑草全般〕 春〜夏期, 雑草生育 期(草丈30cm以下 時), 50~75g <10 ~15 l>, 全面茎葉

対象果樹 (品種名)	薬剤名・剤型 (商品名) (委託者名)	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所 (数) ()=試験 実施中	試験の種類 [ねらい, 対象雑草] 処理時期; 散布薬量(製品/a) <水量/a>; 処理方法	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
カンキツ類 (つづき)	(8) MW-DC 水和 (つづき) [明治製菓]					処理. 継: 草種と処理時期, 薬量について.
	(9) RSH-60 水和 (コクレアー) [RSH-60 研]	アシュラム35 DCMU...25	三重紀南, 香川府中, 熊本. (3)	適用性 [刈取代用兼清耕維持効 果, 一年生雑草およびヨモギ ・ギシギシ等多年生雑草] 早春期(草丈10~15 cm時), 夏期(草丈20~30 cm時); 80, 100, 120 g <15~20 l>; 全面茎葉処理.	継続 実・ 継	実: [カンキツ類; 刈 取代用兼清耕維持; 雑草全般] 春(草丈10~15 cm 時)~夏期(草丈20 ~30 cm時), 80 ~ 120 g <10~15 l>; 全面茎葉処理. 継: 草種と薬量について.
	(10) SC-224 液 [ストウファー]	スルホセイト40.8	四国, 千葉 暖地, 愛知 蒲郡, 高知, 福岡, 大分 津久見. (6)	適用性 [刈取代用効果, 一年生 および多年生雑草全般] 春・夏期, 雑草生育(盛)期 ; 25, 50, 75 ml <10~15 l>; 全面茎葉処理.	新規 継	・試験年次不足. (草種, 薬量, 水量, 散布法等について)
			四国, 山口 萩. (2)	適用性 [葉害] 生育期; ・ 100 ml <10 l>; 茎葉処 理. ・ 100, 500 ml <10 l>; 土 壌処理.	新規 継	・連年施用の葉害等に ついて.
	(11) SL-236 乳 (ワンサイド) [石原産業]	フルアジホッ プ.....35	果試口之津, 高知, 佐賀. (3)	適用性 [抑草効果, ススキ・チ ガヤ等多年生イネ科雑草] 雑草生育期(草丈約30 cm時) ; 10, 15, 20 ml <10 l>; 全 面茎葉処理.	継続 実	・ [カンキツ類; 抑草 効果; 多年生イネ科 雑草] 雑草生育期(草丈30 cm前後時), 15~ 20 ml <10 l>; 全 面茎葉処理.
	(12) SL-236 ① 乳	フルアジホッ プ.....17.5	果試興津, 愛媛, 熊本. (3)	適用性 [刈取代用効果, 一年生 イネ科雑草] 春・夏期, 雑草生育期(草丈 20 cm以下時); 10, 20, 30 ml <10 l>; 全面茎葉処理.	新規 実・ 継	実: [カンキツ類; 刈 取代用; 一年生イネ 科雑草] 春~夏期, 雑草生育 期(草丈20 cm以下 時), 20~30 ml <10 l>; 全面茎葉 処理. 継: 処理時期, 薬量に ついて.
			果試口之津, 四国, 三重	適用性 [刈取代用効果, チガヤ・ ススキ等多年生イネ科雑草]	新規 実・継	実: [カンキツ類; (刈 取代用); 多年生イ

対象果樹 (品種名)	薬剤名・剤型 (商品名) [委託者名]	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所 (園) =試験 実施中	試験の種類 [ねらい, 対象雑草] 処理時期; 散布薬量(製品/a) <水量/a>; 処理方法等	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
カンキツ類 (つづき)	(12) SL-236 ① 乳 (つづき) [石原産業]		紀南. (3)	春～夏期, 雑草生育期(草丈 約30cm時); 30, 40, 50ml <10 l>; 全面茎葉処理.		ネ科雑草] 春～夏期, 雑草生育 期(草丈30cm前後 時), 40～50ml <10 l>, 全面茎葉 処理. 継: 草種, 薬量につ いて.
	(13) XRD-233 液 [XRD-233 研]	トリクロピル ……………30	果試口之津, 四国. (2)	適用性 [薬害] 生育期; 60, 300ml <10 l>; 土壌処理.	継続 継	・処理時期, 散布場所, 土壌水分等と薬害に ついて.
パイナップ ル	(1) SSH-43 水和 (イソキシール)		沖縄名護, 同八重山. (2)		継続 実	・ [清耕維持; 一年生 雑草全般] 植付後～生育期, 雑 草発生前～生育初期, 10～20g <10～15 l>, 全面茎葉処理.

B. 生育調節剤

対象果樹 (品種名)	薬剤名・剤型 (商品名) [委託者名]	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所 (園)	試験の種類 [ねらい] 処理時期; 散布濃度<水量/ a>; 処理方法等	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
(早生温州)	(1) CS-1B 水和 (改良クレフノ ン) [白石]	炭酸カルシウ ム……………95 固着剤等…5	果試興津, 神奈川根府 川, 愛媛, 福岡, 鹿児島. (5)	適用性 [浮皮軽減, 品質向上, 予措効果 (クレフノンとの比 較)] 着色期前後 (2～3回); 100, 50倍; 立木全面散布.	継続 実 継	実: [温州ミカン; 浮 皮軽減; 予措, (品 質向上)] 着色開始期前後およ びその15～20日後 (2 分着色期) の2回, 100～50倍液, 立木 全面散布. 継: 処理時期, 回数と 濃度について.
	(2) HOK-813 乳 [北興化学]	フェノチオー ル……………20	愛媛南予, 佐賀, 宮崎, 鹿児島. (4)	適用性 [減酸, 着色促進効果] 蛍尻期20, 10日前及び蛍尻期 (2～3回散布); 50, 100ppm (4000, 2000倍); 立木全面 散布.	継続 実 継	実: [早生温州; 品質 向上] 蛍尻期20日前頃～蛍 尻期, 2～3回, 50～ 100ppm液, 立木全 面散布. 継: 濃度, 回数等につ いて.
	(3) MB-07 液	未公開…………6	果試興津. (1)	基礎 [品質向上 (減酸, 増糖等) 効果] 7月中旬より20日毎 (2～3 回散布); 500, 300倍<30～	新規 継	・処理条件について更 に検討

対象果樹 (品種名)	薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所 (数)	試験の種類〔ねらい〕 処理時期; 散布濃度<水量/ a>; 処理方法等	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
カンキツ類 (早生温州) (つづき)	(3) MB-07 液 (つづき) 〔丸和, トモエ〕			50 l>; 大枝別処理.		
			愛媛, 佐賀, 宮崎, 鹿児島. (4)	適用性〔品質向上(減酸, 増糖 等)効果および薬害〕 7月中旬より20日毎(3回散布); 500, 300倍<30~50 l>; 大枝別処理.	新規 継	・試験年次不足. (処理時期, 濃度, 回数, 処理方法等について)
(早生温州)	(4) OM-S 水溶 〔森六〕	核酸関連物質	果試興津, 同口之津. (2)	作用性〔減酸, 増糖, 着色促進, 食味向上等品質向上効果〕 開花から収穫まで2回(満開 30日後および70~90日後等); 1000倍液<300~500 l>; 葉面散布. *詳細は試験成績集録参照.	新規 継	・処理時期, 濃度, 回数等について更に検討.
(早生温州)	(5) SMF-1 液 〔神協産業〕	海藻エキス90 リン酸カリ10	静岡, 和歌 山, 広島, 愛媛南予, 福岡, 佐賀, 熊本. (7)	適用性〔品質向上効果および農 薬混用による薬害〕 7月下旬, 8月中旬, 9月上 旬(3回散布); 300倍<40 l>; (慣行農業混用)立木 全面散布.	継続 実 継	実: (早生温州; 品質 向上) 7, 8, 9月の3回, 300倍液<40 l>; 立木全面散布. 継: 前年どおり. 慣行農薬との混合, 近接散布および処 理時期, 回数, 樹 勢との関係, 連用 の影響等について.
(伊予柑)	(6) SMF-1 液 (神協液肥1号) 〔神協産業〕	海藻エキス90 リン酸カリ10	山口大島, 愛媛, 同南 予, 佐賀. (4)	適用性〔品質向上効果〕 ・10月上旬, 10月下旬(2回 散布) ・10月下旬, 11月中旬(2回 散布) ・10月上旬, 10月下旬, 11月 中旬(3回散布); 300倍<40 l>;立木全面散布.	継続 継	・処理時期について.
(早生温州)	(7) SMFC SMFD SMFO 〔神協産業〕	未公開	果試興津, 同口之津. (2)	基礎〔品質向上効果〕 *詳細は試験成績集録参照.	継続 継	・再検討.
(ネーブル)	(8) GR-58 乳 (マデック) 〔カネショウ〕	MCPB...20	広島柑橘, 山口大島. (2)	適用性〔裂果防止効果〕 7~8月頃; 1000, 667, 500 倍(200, 300, 400ppm); 立 木全面散布.	継続 継	・処理時期, 濃度と薬 害等について.
(極早生温州)	(9) GA3 水溶	ジベレリン 顆粒(粉末)3.1	福岡. (S59.試験 成績)	適用性〔花芽抑制, 新梢葉発生 促進(樹勢の維持)効果の安定性〕	継続 (※)	・試験年次不足.

対象果樹 (品種名)	薬剤名・剤型 (商品名) [委託者名]	有効成分および含有率(%)	試験実施 場所(%)	試験の種類〔ねらい〕 処理時期; 散布濃度<水量/ a>; 処理方法等	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
(極早生温州) (つづき)	(9) GA3 水溶 (つづき) [協和醗酵]		(全5場所)	11月～12月(1月～2月); 立木全面または樹別(部分)散布.		
(カンキツ類)	(10) 改良C-MH液 (エルノー)	マレイン酸ヒ ドラジドコリ ン塩……………39	果試興津, 同口之津. (2)	基礎〔夏秋梢伸長抑制効果〕 夏・秋期, 新梢萌芽期; ・夏期…400～200倍; ・秋期…150～100倍等; 立木(樹別)全面散布. * 詳細は試験成績集録参照.	継続 (継)	・適用性試験の実施.
(温州ミカン)			神奈川根府 川, 静岡, 愛媛, 宮崎, 鹿児島. (5)	適用性〔夏秋梢伸長抑制効果〕 夏・秋期, 新梢萌芽期; ・夏期…200倍(再伸長毎に 散布), ・秋期…150～100倍; 立木(樹別)全面散布.	継続 実・ 継	実:〔温州ミカン; 夏 秋梢伸長抑制〕 夏～秋, 新梢萌芽期, 夏期200倍液, 2回, 秋期100～200倍液1 回, 立木全面処理. 継: 次年度への影響, 品質への影響等につ いて.
(中晩柑類)			静岡伊豆, 和歌山, 広 島柑橘, 高 知, 大分. (5)	適用性〔夏秋梢伸長抑制効果〕 夏期, 新梢萌芽期より開始 (1～数回再伸長毎に散布) ; 250～200倍; 立木(樹別) 全面散布.	継続 実・ 継	実:〔ネーブルオレン ジ; 夏秋梢伸長抑制〕 夏～秋, 新梢萌芽期 より再伸長開始時に 2～3回, 200倍液, 立木全面散布. 継: 処理時期, 濃度, 回数と品質, 次年度 への影響および他の 樹種について.
(カンキツ類)	(11) PP-333 フロアブル	バクロブトラ ゾール……………25	千葉大, 愛 媛大・果試 興津. (2) <自主> 鹿児島大.	基礎〔新梢伸長抑制, 果実品質 におよぶ影響〕 * 詳細は試験成績集録参照.	継続 (継)	・処理方法の検討.
(温州ミカン)			果試興津, 同口之津, 鹿児島大, 香川府中, 福岡, 宮崎. (6)	適用性〔新梢(春, 夏, 秋枝) 伸長抑制, 果実品質におよ ぶ影響〕 春(4月), 夏(7月), 秋 (9月)の萌芽期; 250倍; 立木(樹別)全面散布.	新規 継	・試験年次不足. (処理時期, 濃度, 回数等について)
(カンキツ類)	(12) S-327D 水和	ユニコナゾ ールD……………5	果試興津. (1)	作用性〔新梢伸長抑制等効果〕 125, 250, 500ppm. * 詳細は試験成績集録参照.	新規 継	・処理方法の検討.

対象果樹 (品種名)	薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所 (数)	試験の種類〔ねらい〕 処理時期; 散布濃度<水量/ a>; 処理方法等	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
(温州ミカン)	(12) S-327D 水和 〔住友化学〕		静岡, 愛媛, 福岡, 宮崎, (4)	適用性〔新梢伸長抑制効果〕 春, 夏, (秋)の萌芽期; 125, 250, 500ppm; 立木(樹 別)全面散布.	新規 継	・試験年次不足. (処理時期, 濃度, 回数等について)
	(13) AXF-1072 液 (エラミカ)	ジクロロプロ ップ……………10	四国, 神奈 川根府川, 静岡, 同西 遠, 愛知蒲 郡, 三重紀 南, 大阪, 和歌山, 兵 庫淡路, 山 口萩, 香川 府中, 徳島, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 鹿児島. (17)	実用化〔摘果: マシン油との混 用および近接散布〕 25, 50, 100ppm; マシン油 (97%) 150 倍. *展着剤 日農リノー加用 (単用・近接). ①マシン油前散布および混用 散布, 処理時期; 満開30日 後; ・一週間前マシン油散布→ AXF 50ppm (近接). ・AXF 50, 100ppm + マシ ン油 (混用). ・AXF 50, 100ppm (単用). ②マシン油後散布および混用 散布, 処理時期; 満開30日 後; ・AXF 50ppm → 一週間後 マシン油散布 (近接). ・AXF 50, 100ppm + マシ ン油 (混用). ・AXF 50, 100ppm (単用). ③AXF 低濃度およびマシン 油混用散布, 処理時期; 満 開25~30日後; ・AXF 25, 50ppm + マシ ン油 (混用). ・AXF 25, 50ppm (単用).	継続 実・ 継	実: 〔温州ミカン; マ シン油との混用による 摘果〕 満開30日後, 25~50 ppm + マシン油 150 倍混合液, 立木全面 散布. 継: 濃度, 処理時期お よび早生温州の果皮 障害等について.
			果試口之津, 四国, 神奈 川根府川, 三重紀南, 奈良, 愛媛, 同南予, 福 岡, 佐賀, 宮崎, 鹿児 島. (11)	実用化〔摘果: 散布時期〕 処理濃度: 100 ppm ①早生温州 満開(15,) 20, 30(, 35) 日 後. ②温州 満開(25,) 30, 40(, 45) 日 後.	継続 実・ 継	実: 〔早生温州および 温州ミカン; 摘果〕 早生…満開20~30日 後, 100ppm液; 普通…満開30日後, 50~100ppm液; 立木全面散布. 継: 処理時期, 濃度, 処理時の条件, 樹勢 と効果および品質向 上効果について.
			果試興津, 同安芸津, 千葉大, 愛 媛大・果試	実用化〔摘果: その他〕 1) 満開30日後散布における果 径と摘果効果. 2) 満開30日後散布における展	継続 継	・連年使用による, 明 らかな影響はないも のと思われる. 種々の点について.

対象果樹 (品種名)	薬剤名・剤型 (商品名) [委託者名]	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所 (数)	試験の種類〔ねらい〕 処理時期：散布濃度<水量/ a>; 処理方法等	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
(温州ミカン等) (つづき)	(13) AXF-1072 液 (つづき) [ユニオンカー バイド]		興津, 鹿児島大, 千葉 暖地, 静岡, 同西遠, 高 知, 宮崎亜 熱帯. (10)	着剤加用と効果. 3) 樹令・樹勢と効果の関係. 4) 温度と効果, 薬害の関係. 5) 光と効果, 薬害の関係(樹 の揚光の当る部位と日陰の 部位). 6) 散布後の降雨と効果の関係. 7) 他農薬との近接・混合散布 の影響. 8) 柑橘樹体内での移行性につ いて. 9) 連年使用の樹体におよぼす 影響. 10) 果実への影響(肥大, 肥厚, 硬化等の発生原因の究明と 対応). 11) その他周辺作物への影響な ど.		更に検討.
(温州ミカン, 中晩 柑類等)	(14) .etychlo- zate 乳 (フィガロン) [J-455] [日産化学]	エチクロゼー ト……………20	果試興津, 同安芸津, 同口之津, 四国, 千葉 大, 愛媛大・ 果試興津, 鹿児島大, 千葉暖地, 神奈川根府 川, 静岡, 同伊豆, 愛 知蒲郡, 三 重紀南, 奈 良, 大阪, 和歌山, 同 紀北, 兵庫 淡路, 広島, 同柑橘, 山 口大島, 同 萩, 香川府 中, 愛媛, 同南予, 徳 島, 高知, 福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 同津 久見, 宮崎, 同亜熱帯, 鹿児島. (36)	実用化〔摘果・品質向上・熟期 促進効果〕 ・摘果剤としての早期散布の 効果検討. 満開 20, 30, 40 日後; 100 ppm (2000 倍). ・品質向上・熟期促進効果の 検討. 第 1 回目…満開 20, 30, 40 日後; 100 ppm (2000 倍) 第 2 回目…満開 70 ~ 80 日 後; 67 ppm (3000 倍) ・摘果剤としての部分散布重 点散布, マシン油混用・近 接散布の効果確認. ・連年使用の樹体におよぼす 影響. ・展着剤, 固着剤等の各種補 助剤の添加効果の検討. ・普通温州, 中晩柑類に対す る品質向上, 熟期促進効果 の検討. ・その他 (1) 发育枝の伸長抑制による 着果率向上. (2) ネーブルの生理落果防止. (3) その他.	継続 (継)	・ねらいをしばって検 討.

対象果樹 (品種名)	薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所 (数)	試験の種類〔ねらい〕 処理時期; 散布濃度<水量/ a>; 処理方法等	新規 の別 今回 判定	判定理由または内容
(パイナップル)	(15) benzyladenine 液 (ビーエー) 〔クミアイ化学〕	ベンジルアデニン……………3	果試興津, 愛媛大・果試興津. (2)	作用性〔新梢発生促進効果〕 発芽直前等; 100~300ppm. * 詳細は試験成績集録参照.	新規 (続)	・適用性試験の実施.
	(16) 改良C-MH 液 (エルノー) 〔ヒドラジン〕	マレイン酸ヒドラジドコリン塩……………39	沖縄名護, 同八重山. (2)	適用性〔冠芽伸長抑制効果〕 5月中旬, 5月下旬, 6月上旬; 40, 50 倍<10 ml>; 冠芽の中心に散布.	新規 継	・試験年次不足. (処理時期, 濃度, 処理量, 回数等について)
	(17) ジベレリンペースト (ジベレリン協和ペースト) 〔協和醗酵〕	ジベレリンA 3……………2.7	果試興津. (1)	基礎〔果実肥大促進効果(果実品質におよぼす影響)〕 果梗部塗布. * 詳細は試験成績集録参照.	新規 (続)	・適用性試験の実施.

植 調 協 会 だ よ り

◎ 会計監査について

昭和61年5月7日(水), 昭和60年度事業の実施状況・収支決算につき監査を受けた。

◎ 第51回役員会開催す

昭和61年5月21日(水), 植調会館3階会議室において開催され, 次の議案につき審議可決された。

1. 昭和60年度事業報告及び決算報告承認の件
2. 昭和60年度剰余金処分(案)承認の件
3. 昭和61年度事業計画及び予算(案)承認の件
4. 研究所の増築並びに整備の件
5. その他報告

1. 昭和60年度事業報告及び決算報告承認の件

1) 昭和60年度事業報告について

(1) 一般事業に関する事業

① 第49回役員会(昭和60年5月22日開催)

第50回役員会(昭和60年12月26日開催)

② 監査(昭和60年5月15日実施)

③ 評議員会(昭和60年9月25日開催)

(2) 受託・委託試験研究事業に関する事項
ア. 重点研究課題

① 水田一発処理剤の開発利用に関する研究(継続)

② 水田一発処理剤の補正散布に関する研究(継続)

③ 水田除草剤モデル圃場試験の実施(新規)

④ 水田難防除雑草に関する研究(継続)

⑤ 水田雑草発生診断法に関する研究(継続)

⑥ 機械散布技術の確立に関する研究(継続)

⑦ 水稻倒伏軽減剤の開発に関する研究(継続)

⑧ 畑地用細粒剤の開発に関する研究(継続)

イ. 受 託 試 験

永年使用除草剤総合安全性確認調査技術確立に関する研究(2年目)

ウ. 受託・委託試験

① 除草剤および生育調節剤の薬効・薬害試験 昭和59年度冬作関係…74薬剤の延べ382点

昭和60年度夏作関係…542薬剤の延べ3410点

② 除草剤および生育調節剤の試験結果

(a) 昭和59年度冬作関係……74薬剤のうち,

「実」5薬剤, 「実・継」40薬剤, 「継」27